

# TREC JAPAN 競技会関連規程集 2024年度版

TREC(トレック)を始めよう！

TRECは現在ヨーロッパを中心に世界中で急成長中の新しい野外馬術競技です。

この競技名はフランス語の

Technique de Randonnée Equestre de Compétition(T.R.E.C)

から来ています。直訳すると「野外馬術の技術審査競技」。

もともとはフランスで馬を使ったトレールガイドの資格試験として行われていたものが競技として発展したものです。ヨーロッパ各国で盛んに行われるようになってきましたが、特に英国では権威あるBritish Horse Society(BHS英国馬事協会)が総括団体として普及に力を入れていることもあり急成長、毎週末どこかで大会が開かれるほどになっています。97年からは世界選手権も行われています。

TRECは、野外騎乗における人馬の適正を広範囲に亘ってテストするポイント制審査競技でタイムを競うレースではありません。

ブリティッシュ・ウエスタンといったスタイルを問わず、初心者からベテランまでの幅広い層が安全に楽しめる競技であり、教育効果も高いことから日本への導入が永らく望まれていましたが、国際ルールでは競技の中心となるフェーズ(部門)が公道を使ったオリエンテーリングであることや、日本とヨーロッパとの馬文化の成熟度の違いにより、そのままの形では日本に導入しにくいものがありました。

しかしこのたび、日本の馬文化の現状にあわせた独自のルールに基づくTRECJapan競技を開発することにより、日本でもTRECを安全に身近に楽しめるようになりました。

みなさまのご参加をお待ちいたしております。

## TREC競技の魅力

### 1 自然を楽しめる。

大自然の中で馬術を習得できます。障害飛越、馬場馬術、ウエスタン競技などの基礎を馬場の中ではなく、野外で習得できます。エンデュランスの基礎訓練としても最適です。

### 2 安全で楽しい

TRECは基本的にポイントによる採点競技であり、スピードレースではありません。ぎりぎりまで自分を追いこんでチャレンジすることもできますし、また無理をせず気楽に楽しむこともできます。

### 3 フレキシブル

この競技は人馬の広範な技能を必要とします。その点では決して易しいものではありませんが、また同時に非常にフレキシブルなものでもあります。本格的国際競技は2日間に亘って行われますが、会場と競技者の都合に合わせて1日で行うこともできます。すべてのフェーズを行わなくてもかまいません。

### 4 参加しやすい

参加する馬の種類は問いません。エンデュランスもルールでは「馬は種類を問わない」と定めてありますが、1日160kmを走る本格的競技では持久力にすぐれたアラブ種以外の馬はあまり見かけません。TREC競技の会場ではあらゆる種類の馬を見かけます。特別すぐれた血統の競技馬である必要はなく、ポニーや農耕馬も出場しています。ローカル競技会では殆どの参加者が普段着のまま参加しています。高価な服装や特別な馬具を買い求める必要もありません。

### 5 教育的効果が高い

自然環境に優しいものであり、ライダーたちは同好の士と親睦を深めながら、自己実現を図ることができます。教育的な側面も単なるホーストレッキングより大きなものがあり、馬のウエルフェア全般に関わる知識、地形やコースを読む能力、そしてカントリーサイドの自然を慈しむ心が養われます。

## 目次

### 概要

第1フェーズ ベーシックホースマンシップ BH(Basic Horsemanship)

第2フェーズ 歩様コントロール CG(Control de Gate)

第3フェーズ 野外基礎課目PTV(Parcours en Terrain Varie)

第4フェーズ オリエンテーリング POR(Parcours d'orientation et de Regularite)

野外運動審査 課目一覧

TREC JAPAN実行委員会

JAPAN EVENTING

## 概要

日本の実情に即したTREC競技です。競技は4つのフェーズ(部門)に分かれ、それぞれのポイントの合計を競います。

- 第1フェーズ ベーシックホースマンシップ BH (Basic Horsemanship)
- 第2フェーズ 歩様コントロール CG (Control de Gate)
- 第3フェーズ ベーシクトレイルテクニク PTV (Parcours en Terrain Varie)
- 第4フェーズ オリエンテーリング POR (Parcours d'Orientation et de Regularite)

## ミニTRECクラス

第1～第3フェーズのみを行い、第4フェーズのオリエンテーリングは行ないません。  
第3フェーズは8項目とします。

## ノービスクラス

第1～第3フェーズのみを行い、第4フェーズのオリエンテーリングは行ないません。  
第3フェーズは16項目とします。

## トレーニングクラス

第1～第4すべてのフェーズを行います。

競技会(練習会、トライアル、模擬競技)、講習会などを開催する場合は、事前に下記に連絡してください。

TREC JAPAN 実行委員会  
NPO法人JAPAN EVENTING

## G1 概要

競技は以下の4つのフェーズからなり、その合計ポイントを競う。

- 第1フェーズ ベーシックホースマンシップ BH 20ポイント
- 第2フェーズ 歩様コントロールCG 60ポイント
- 第3フェーズ ベーシクトレイルテクニク PTV 160ポイント
- 第4フェーズ オリエンテーリング POR 240ポイント

## G2 人馬の年齢

- G2:1 ライダーの年齢は原則ノービスでは8歳以上、トレーニングでは12歳以上とする。ミニTRECクラスは特に年齢制限は設けない。
- G2:2 馬の年齢は4歳以上とし、種類は問わない。

## G3 競技

- G3:1 競技はすべての種目を同一人馬のコンビネーションで行う。
- G3:2 スタート順とスタートタイムは主催者が決定する。

## G4 失権

- G4:1 馬の体調、あるいはウエルフェアに問題があると判断された場合
- G4:2 CGあるいはPTVにおいて、外部からの援助を受けた場合  
但し危険であると判断された場合はその限りではない。PORについても然りである。
- G4:3 PORフェーズにおいて、審判団の許可なくGPSを使用した場合。
- G4:4 PORフェーズにおいて審判団の許可なく携帯電話などを用いてルートについての相談を行った場合  
但し危険であると判断された場合はその限りではない。

## G5 抗議、質問

- G5:1 抗議、質問は審判長か主催者に対し紳士的に丁重に行わなければならない。
- G5:2 競技者はスコアについて、審判と直接議論することはできない。
- G5:3 主催者のコントロールが及ばない事柄については、抗議の対象とはならない。

## G6 競技者の服装

- G6:1 服装は野外での騎乗に適した安全なものであれば自由であるが、馬が驚く可能性があるもの(派手な色や裾が長いレインコートなど)を着用することは出来ない。
- G6:2 安全基準を満たした乗馬用ヘルメットをかぶらなければならない。  
ボディープロテクターの着用も必須とする、エアバック式プロテクターを着用する場合は通常のものと同様に併用することを強く推奨する。
- G6:3 審判団は競技者の服装が不適切と判断した場合、競技開始を止める権利を有する。

## G 7 馬装と用具

- G 7 :1 原則として馬装と用具に規制はないが、安全な状態で競技馬に適合していなければならない。
- G 7 :2 PTVフェーズにおいて、ランニングマルタンガールを使用する場合、引き馬の審査では手綱をマルタンガールから外すか、マルタンガール自体を外さなくてはならない。
- G 7 :3 鞭の使用は可能だが、濫用は禁止する。
- G 7 :4 拍車の使用は可能だが、競技者が適切に使用できなければならず、馬体に拍車傷が認められる場合は失権となる場合がある。
- G 7 :5 馬装と用具は競技中いかなるときでも検査の対象となりえる。

## 第1フェーズ ベーシックホースマンシップBH 20ポイント

### B1 目的

野外騎乗に出発する前の事前検査を想定し、馬とライダーの準備が適切に出来ているかをみる。

### B2 審査方法

ライダーは引き馬で常歩と速歩をさせ、審判の前を往復(距離片道25m程度)したあと、下紀の項目について審査を受ける。馬具のフィッティング状況の確認と、ライダー本人の馬装する能力を確認するため、審判は必要に応じ、いったん馬具を取り外し、再度装着することをライダーに要求する場合がある。

### B3 採点方法

各項目に問題がある場合、それぞれ2ポイントの減点となる。スコアシートに減点理由が書き込まれる。

#### グルーミング

ブラッシング:泥、汗マーク、異物の付着。怪我の有無。蹄と蹄鉄。

#### 馬具、馬装

清潔さ、フィッティング、サイズの調節、修理の程度、トレイル用品の装着状況、馬装のスムーズさ。

#### プレゼンテーション

馬のコントロール、安全性、回転、リードロープの扱い、他者への配慮。

## 第2フェーズ 歩様コントロール CG

60ポイント(駢歩、常歩それぞれ30ポイント)

### C1 目的

C1:1 地面にマークされた走路の中で、馬に遅い駢歩と速い常歩をさせることにより、ライダーが馬のペースをコントロールできるかをみる。駢歩は遅ければ遅いほどポイントが高く、常歩は速ければ速いほどポイントが高くなる。

### C2 ステージ

C2:1 走路の長さは75m、幅は2.5mとする。走路は直線でなくてもかまわない。

C2:2 ミニTRECクラスでは全長を短縮する場合がある。その場合は、その比率に応じて得点表を変更する。

### C3 採点

C3:1 以下の場合それぞれ3ポイントの減点となる。

コース上で停止、または後退した場合。

走路から馬の肢が外に出た場合。

C3:2 指定された歩様以外の歩様になった場合は10ポイントの減点となる。

C3:3 駢歩区間では事前に宣言して速歩で走行することも認められる。

その場合の得点は5点とする。

### C4 落馬

C4:1 落馬の場合は0点となるが、落馬したステージ(駢歩ステージか常歩ステージ)のみに適用される。(但し落馬後は競技役員のチェックを受けないと再騎乗は認められない。)このフェーズでの落馬で自動的に失権となることはない。

## "第3フェーズ ベーシックトレイルテクニック (野外基礎課題)

160ポイント

### P1 定義

P1:1 このフェーズは野外騎乗の際に必要なさまざまな技量をみるものである。自然の中で実際に遭遇する課題を乗り越えていく際の、馬の従順さ、勇敢さ、機敏さ、バランスと安定感、またライダーの騎乗技術・扶助の正確さとポイントにより評価する。

### P2 コース

P2:1 課題はミニトレックでは8、ノービス・トレーニングは16とし定められた順番に走行しなければならない。天候や安全を考慮して主催者は課題の数を増減することができる。

P2:2 それぞれの課題には、右側に赤旗、左側に白旗を設置するとともに、番号を障害物の右側に掲示する。

P2:3 競技者には事前にルートが説明される。

### P3 歩様の選択

歩法は自由である。

### P4 コースウォーク

競技者は下見のために事前にコースを歩くことができる。コースウォークのための時間は主催者が決定して発表する。

### P5 採点基準 (Marking)

P5:1 最高点は160ポイント。実際の採点は各障害ごとに10点満点で採点し、障害の数に応じた係数を乗じて160点満点になるように、ポイントを計算する。

(例：8障害の場合：7点×2=14点)

ポイントはEffectiveness (技量) と Style (スタイル) の観点から付与される。

#### P5:2 拒止

課題を3回拒止すると、0ポイントとなるが、次の障害に進むことはでき失権とならない。

#### P5:3 パス

課題をパスして次の課題に進むことが出来る。その場合は審判員に告げなければならない。

その課題は0点となる。

p5:4 コースを間違えても失権とはならず、審判員の指示に従いやり直すことが出来る。

### P6 タイムスコアリング

TREC JAPANに関してはタイムスコアリングを適用しない。

### P7 スタートとフィニッシュ

p7:1 スタートおよびフィニッシュラインは右に赤旗、左に白旗をたてる。

### P8 採点基準

P8:1 障害のそれぞれを0から10までの段階で採点する。Effectiveness(技量) とStyle (スタイル) のそれぞれの観点から見る。馬への暴力、危険な行動の場合のみマイナスポイントがつくことがある。

## P9 Effectiveness (技量)

P9:1 障害をうまく通過できたか否かを下記の点から採点する。

- できたか／できなかったか
- 通過したか／通過しなかったか
- 触ったか／触らなかったか
- 動いたか／動かなかったか
- 指示に従ったか／従わなかったか

採点例：

失敗なし／触らなかった／拒否や抵抗なし／歩様が変わらない／外に踏み出さない 等 =7

1回失敗した／触った／拒否や抵抗した／歩様が変わった／外に踏み出した 等 =4

2回失敗した／触った／拒否や抵抗した／歩様が変わった／外に踏み出した 等 =1

3回失敗した／触った／拒否や抵抗した／歩様が変わった／外に踏み出した 等 =0

この特典はスコアシートのEの欄に記入する。

## P10 Style1 (スタイル)

Style得点をEffectiveness得点に加える。以下の基準に従って採点する。

大変良い +3、良い +2、少し良い +1、平均的 0、少し悪い -1、悪い -2

"あるいは歩様によって採点する場合。

駈歩 +3、常歩 -2

この得点はスコアシートのSの欄に記入する。

## P11 Penalties (ペナルティー)

暴力的あるいは危険な行動の場合はマイナス点がつく -3

いくつかの障害については鎧のあげ忘れは-1となる。ウエスタン鞍には適用しない。

この得点はスコアシートのPの欄に記入する。

## P12 落馬・転倒

落馬・転倒（人馬の）はEffectivenessが0点となる。PTVコース上においての2回の落馬・転倒はPTVフェーズからの失権となり安全上の理由から競技を続けることはできない。

## P13 採点方法

EffectivenessにStyleを加え、Penaltiesを引く。（E + S - P）

すべての課題において、Effectivenessが0の場合、その課題の得点は0となる。暴力や危険な行動によるペナルティーがつく場合はマイナスポイントがつく。

## スコアシートの記入例

ライダーNo,	E	S	P	得点
1	7	2		9
2	1	1		2
3	4	2	-1	5
4	0		-3	-3
5	7	3		10

"第4フェーズ オリエンテーリング POR  
240ポイント

### N1 定義

この種目はあらかじめ定められたルートを指定された速度で回ってこなければならない。このルートは馬のフィットネスの評価となるだけの長さがあり、地形的に変化にとんだ部分が含まれていることが望ましい。

### N2 概要

N2:1 距離は10km、20km、30km、40kmの4段階とし、主催者が事前に定める。

N2:2 コースには数か所チェックポイントが設けられる。

N2:3 競技者が各区間を走行するための平均速度は事前に定められる。

N2:4 競技者のスコアは、指定されたタイムと実際に所要したタイムの差によって決められる。

#### N2:5 目標速度

時速6km～12km（分速100～200m）の範囲で主催者が決定する。連続する2区間では同じ速度を指定してはならない。コースによっては時速6km以下も認められる。

N2:6 ルートは25,000分の1あるいは50,000分の1の地図、あるいはそのいずれかに相当する図面で示され、事前に競技者に渡される。

#### N3 チェックポイント

N3:1 チェックポイントは指定された順に回らなければならない。競技者はチェックポイントの数と位置は事前に知ることが出来る。

N3:2 それぞれのチェックポイントは赤旗（右側）と白旗（左側）によってしめされる。実際のチェックポイントの手前50m以内にもう1セットの旗を置くことができる。

N3:3 チェックポイントが見えた場所から、競技者はチェックポイントへ真っすぐ進まねばならず、歩様を変えたり止まったりしてはならない。

N3:4 競技者はそれぞれのチェックポイントを指定された時刻に出発しなければならない。遅れに対してはタイムペナルティーが科される。

#### N4 チケットポイント

正しいルートを競技者が走行してしていることを確認するために、無人のチェックポイント（チケットポイント）を設けることができる。このチケットポイントを通過したことを示すための手段は事前に主催者によって発表される。

（例：指定された木にハンカチやバンダナを結びつけてくる。あるいは結びつけてあるハンカチなどを取ってくる。そこに示された番号を記録するなど）

#### N5 休止時間

それぞれのチェックポイントでは最低5分間の休止が科される。競技者は前の競技者が出発してから原則として5分間は出発できない。チェックポイントにおける混乱を避けるため、また安全上の理由がある場合などはこの休止時間を短縮もしくは延長する権限をチェックポイントの審判は有する。

## N6 馬体検査

N6:1 馬体検査が組み込まれている競技の場合は、獣医師あるいは指定された役員が馬の状態をチェックする。

N6:2 10kmおよび20km競技では馬の体調検査はオプションとする。30km競技、40km競技では最低1回は馬の体調検査を行わなければならない。

N6:3 獣医師あるいは役員は必要と判断した場合、一定時間（15分以上）の休止を命じたり、競技を中断させることができる。この決定に対し競技者は異議申し立てをすることはできない。

## N7 ペナルティーポイント

このフェーズの満点は240点であり、下記のペナルティーポイントを差し引いたものが得点となる。

N7:1 獣医師あるいは担当役員によって休止を命ぜられた時間、1分ごとに1ポイント。

N7:2 基準タイムとのずれ（早くても遅くても）、1分ごとに1ポイント。

N7:3 チェックポイントが見えてから、競技者が正しいルートを同じ歩様で進行しない場合、すなわち、そのセクションの得点を競技者が意図的に変更しようとしていると、審判が判断した場合は30ポイント。

N7:4 指定されたルートを別方向からチェックポイントに入った場合。30ポイント。

N7:5 チェックポイントを通しなかった場合。50ポイント。ミスしたチェックポイントの前後のステージは、前のステージの指定スピードで1つのステージを走行したものとする。

N7:6 チケットポイントを通しなかった場合の減点は特に設けないが明らかにショートカットのためチケットポイントに向かわなかった場合は失権となる場合がある。

N7:7 定時もしくは審判から指示されたスタート時刻より遅れた場合、チェックポイントのスタートの遅れ1分ごとに1ポイント。

N7:8 チケットポイントが番号制の場合、番号の誤差がポイント減点となる。

## N8 落馬

このフェーズ中に落馬をした競技者は、安全上の理由から失権となる。その場合競技場を立ち去る前に必ず医事役員のチェックを受けること。受けない場合はイエローカードとなる。

## 課題一覧

- 1、静止 immobility
- 2、騎乗 mounting
- 3、スラローム slalom(ridden)
- 4、通路 corridor(ridden)
- 5、引き馬通路 in hand corridor
  
- 6、後退 reining back(ridden)
- 7、S字 S-bend test(ridden)
- 8、引き馬S字 in hand S-bent test
- 9、坂登り riding up an incline
- 10、坂下り riding down an incline
  
- 11、引き馬坂登り leading up an incline
- 12、引き馬坂下り leading down an incline
- 13、倒木ジャンプ tree trunk(ridden)
- 14、生垣ジャンプ hedge(ridden)
- 15、ステップアップ step up(ridden)
  
- 16、ステップダウン drop(ridden)
- 17、引き馬ステップアップ in-hand step up
- 18、引き馬ステップダウン in-hand step down
- 19、ゲート gate(ridden)
- 20、水渡り water crossing(ridden)
  
- 21、橋渡り footbridge(ridden)
- 22、引き馬橋渡り in-hand footbridge

参考：ノービス・トレーニング競技は16項目で行われる。(ミニTRECは8項目)

























